

令和6年10月21日

関係各位

岩手県良書推進協議会
会長 大石 善弘

岩手県良書推薦運動読書感想文コンクールの終了について（お知らせ）

錦秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より当協議会と標記コンクールへのご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、この度、「岩手県良書推薦運動読書感想文コンクール」は、今回ご案内する第82回コンクールをもちまして、開催を終了いたします。岩手県の子どもたちに、本との巡り合いや本を読むことの楽しさを広げていきたいと願って参りましたが、時代の流れの中で、社会はもとより学校をはじめとした子どもたちを取り巻くさまざまな環境など大きく変化しており、当協議会の活動及び本コンクールも一定の役割を終えたと判断し、終了することといたしました。

本コンクールは、昭和59年度から令和6年度までの41年間、夏と冬の年2回、開催して参りました。当初の応募方法は、現在とは違い官製ハガキに直接読書感想文を書いて投函してもらう方法で、このようなことも懐かしく思い出されます。コンクールの応募数も多い時には300点を超える事もあり、限られた時間での作品審査作業はうれしくも大変だった記憶がございます。

これまで活動してこられましたのは、ひとえに学校関係者、歴代の審査員の先生方、そしてこれまで読書感想文作品を応募していただいた児童や保護者の皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今後は、これまで本コンクールに協賛していただいた岩手県学校生活協同組合が岩手県学校図書館協議会（岩手県SLA）の青少年読書感想文コンクールを後援する形へ移行します。これまで取り組んできた「岩手の子どもたちに良い本に出会い読書に親しんで欲しい」との願いを継続してその活動が盛り上がっていかれるように今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、最後の「第82回冬休み良書推薦運動読書感想文コンクール」にも、たくさんの作品をお寄せくださいますようお願い申し上げます。